



## 2024年3月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

2023年11月10日

上場会社名 新家工業株式会社

上場取引所 東

コード番号 7305 URL <https://www.araya-kk.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 井上 智司

問合せ先責任者 (役職名) 代表取締役常務管理本部長 (氏名) 浜田 哲洋

TEL 06-6253-0221

四半期報告書提出予定日 2023年11月13日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2024年3月期第2四半期の連結業績(2023年4月1日～2023年9月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第2四半期	22,362	3.3	1,131	55.8	1,496	48.0	978	47.5
2023年3月期第2四半期	23,117	24.2	2,558	101.5	2,875	105.9	1,863	101.2

(注) 包括利益 2024年3月期第2四半期 2,005百万円 (0.7%) 2023年3月期第2四半期 1,992百万円 (45.3%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第2四半期	175.76	
2023年3月期第2四半期	334.69	

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年3月期第2四半期	55,753	33,669	59.7
2023年3月期	54,040	32,220	59.0

(参考) 自己資本 2024年3月期第2四半期 33,289百万円 2023年3月期 31,865百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期		20.00		100.00	120.00
2024年3月期					
2024年3月期(予想)				120.00	120.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2024年3月期の連結業績予想(2023年4月1日～2024年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	43,000	7.4	1,800	61.1	2,000	59.6	1,300	57.5	233.60

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

#### 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無  
以外の会計方針の変更 : 無  
会計上の見積りの変更 : 無  
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2024年3月期2Q	6,045,326 株	2023年3月期	6,045,326 株
期末自己株式数	2024年3月期2Q	479,535 株	2023年3月期	480,307 株
期中平均株式数(四半期累計)	2024年3月期2Q	5,565,113 株	2023年3月期2Q	5,566,580 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

#### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における我が国経済は、欧米を中心としたインフレや政策金利の利上げの長期化、中国経済の低迷など海外景気動向が不安定な中、個人消費や企業の設備投資は緩やかに持ち直しの動きが見られました。

鉄鋼業界においては、自動車関連は、緩やかに回復しているものの、建築関連においては人手不足を起因とする需要の頭打ちから、鋼材市況は低調に推移しました。また、市中価格は弱含みの様相を見せており、一部では物件の価格競争も見られました。

普通鋼製品につきましては、首都圏を中心とした大型再開発案件が堅調に推移する一方で、人手不足の慢性化と資材価格の高止まりは中小案件の着工遅れや工期の延長などを引き起こし、新規案件の受注量は減少しました。また、堅調であった物流倉庫関連の需要にも翳りが見え始め、受注活動に注力しましたが販売数量は微減となりました。

ステンレス鋼製品につきましては、昨年末以降、ニッケル国際価格が徐々に下落することで、高止まりが続いていた販売価格も落ち着きを見せるものの、依然として市中の荷動きは悪く、大型案件については海外からの鋼材調達も見られるなど、半導体装置や医療、食品、薬品関連、水処理等公共投資関連の案件の需要は総じて低調に推移しました。

自転車関連につきましては、円安による仕入れ価格の上昇や夏場の猛暑による需要の減退、市場在庫増加に伴う販売価格の下落など厳しい環境が続きました。そのような中、新製品の投入により新規購買層の獲得に注力しましたが、自転車販売数量は減少しました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は22,362百万円（前年同期比3.3%減）、営業利益1,131百万円（前年同期比55.8%減）、経常利益1,496百万円（前年同期比48.0%減）となり、親会社株主に帰属する四半期純利益は978百万円（前年同期比47.5%減）となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

#### ① 資産、負債及び純資産の状況

##### (資産)

当第2四半期連結会計期間末の総資産は55,753百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,712百万円増加しました。流動資産は33,335百万円となり116百万円の増加となりました。これは主に、電子記録債権の増加616百万円と商品及び製品の減少341百万円であります。固定資産は22,417百万円となり1,596百万円の増加となりました。これは主に、投資有価証券の増加1,553百万円であります。

##### (負債)

当第2四半期連結会計期間末の負債合計は22,083百万円となり、前連結会計年度末に比べ263百万円増加しました。流動負債は16,917百万円となり80百万円の減少となりました。これは主に、未払法人税等の減少612百万円と支払手形及び買掛金の増加595百万円であります。固定負債は5,166百万円となり343百万円の増加となりました。これは主に、その他（繰延税金負債）の増加562百万円と長期借入金の減少159百万円であります。

##### (純資産)

当第2四半期連結会計期間末の純資産は33,669百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,449百万円増加しました。これは主に、利益剰余金の増加419百万円、その他有価証券評価差額金の増加959百万円であります。

② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、8,013百万円となり、前連結会計年度末より258百万円減少しました。各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動による資金の増加は955百万円（前年同四半期は496百万円の資金の増加）となりました。これは主に、棚卸資産の増減額が461百万円の資金増加、仕入債務の増減額が585百万円の資金増加となったことなどによるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動による資金の減少は357百万円（前年同四半期は909百万円の資金の減少）となりました。これは主に、投資有価証券の取得による支出が212百万円の資金減少、有形固定資産の取得による支出が143百万円の資金減少となったことなどによるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動による資金の減少は863百万円（前年同四半期は660百万円の資金の減少）となりました。これは主に、配当金の支払額が557百万円の資金減少となったことなどによるものであります。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

今後の見通しにつきましては、ウィズコロナの下、社会経済の正常化が進展する一方で、円安等の影響によるエネルギー価格に代表される各種コストの高止まりにより、景気減速が懸念されます。鉄鋼需要も分野別に濃淡があるものの、本格的な回復には時間を要するものと思われ、需要は低調に推移することが予想されます。加えて、物流関係における2024年問題や人手不足の深刻化に起因する賃金引上げなど、更なる費用負担増大も見込まれます。

このような中、当グループにおきましては、ニーズに応じた製品の生産効率化と販売価格への転嫁に積極的に取り組み、当社製品の安定供給、そして適正マージンを保持した収益の確保に努めるとともに、国内外の鉄鋼需要に引き続き注視し、拡販に向け尽力してまいります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	8,271	8,013
受取手形及び売掛金	8,262	8,470
電子記録債権	5,482	6,099
有価証券	58	85
商品及び製品	8,067	7,725
仕掛品	515	603
原材料及び貯蔵品	2,136	1,978
その他	455	389
貸倒引当金	△31	△30
流動資産合計	33,219	33,335
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	5,274	5,233
土地	4,567	4,618
その他（純額）	2,494	2,536
有形固定資産合計	12,335	12,388
無形固定資産		
	296	252
投資その他の資産		
投資有価証券	7,732	9,285
退職給付に係る資産	182	239
その他	274	252
貸倒引当金	△0	△0
投資その他の資産合計	8,188	9,776
固定資産合計	20,820	22,417
資産合計	54,040	55,753

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	7,739	8,334
電子記録債務	2,726	2,754
短期借入金	3,541	3,630
1年内返済予定の長期借入金	319	319
未払法人税等	872	259
賞与引当金	428	414
その他	1,370	1,204
流動負債合計	16,997	16,917
固定負債		
長期借入金	2,270	2,110
役員退職慰労引当金	42	50
株式給付引当金	12	9
環境対策引当金	8	1
退職給付に係る負債	1,049	1,014
資産除去債務	9	9
その他	1,429	1,968
固定負債合計	4,822	5,166
負債合計	21,820	22,083
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	3,940	3,940
資本剰余金	4,629	4,629
利益剰余金	21,082	21,502
自己株式	△696	△694
株主資本合計	28,955	29,377
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	3,353	4,312
為替換算調整勘定	△122	△88
退職給付に係る調整累計額	△321	△312
その他の包括利益累計額合計	2,909	3,911
非支配株主持分	355	380
純資産合計	32,220	33,669
負債純資産合計	54,040	55,753

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
売上高	23,117	22,362
売上原価	17,670	18,401
売上総利益	5,447	3,960
販売費及び一般管理費	2,888	2,829
営業利益	2,558	1,131
営業外収益		
受取利息	13	5
受取配当金	101	120
仕入割引	13	11
為替差益	170	200
その他	42	50
営業外収益合計	340	388
営業外費用		
支払利息	17	16
その他	6	7
営業外費用合計	23	23
経常利益	2,875	1,496
特別利益		
固定資産売却益	0	0
特別利益合計	0	0
特別損失		
固定資産売却損	0	—
固定資産除却損	0	0
特別損失合計	1	0
税金等調整前四半期純利益	2,874	1,495
法人税、住民税及び事業税	872	318
法人税等調整額	65	173
法人税等合計	937	492
四半期純利益	1,937	1,003
非支配株主に帰属する四半期純利益	74	25
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,863	978



四半期連結包括利益計算書  
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
四半期純利益	1,937	1,003
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△11	959
為替換算調整勘定	72	34
退職給付に係る調整額	△5	8
その他の包括利益合計	55	1,002
四半期包括利益	1,992	2,005
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,918	1,980
非支配株主に係る四半期包括利益	74	25

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	2,874	1,495
減価償却費	418	402
固定資産除却損	0	0
固定資産売却損益 (△は益)	△0	△0
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△0	△1
株式給付引当金の増減額 (△は減少)	—	△2
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	△19	△25
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	△9	8
受取利息及び受取配当金	△115	△125
支払利息	17	16
売上債権の増減額 (△は増加)	△564	△803
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△1,309	461
仕入債務の増減額 (△は減少)	△292	585
その他	456	△249
小計	1,456	1,764
利息及び配当金の受取額	118	127
利息の支払額	△17	△15
法人税等の支払額	△1,065	△923
法人税等の還付額	5	2
営業活動によるキャッシュ・フロー	496	955
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
投資有価証券の取得による支出	△5	△212
有形固定資産の取得による支出	△890	△143
有形固定資産の売却による収入	3	0
無形固定資産の取得による支出	△16	△2
投資活動によるキャッシュ・フロー	△909	△357
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△172	△123
長期借入金の返済による支出	△159	△159
リース債務の返済による支出	△20	△23
配当金の支払額	△306	△557
自己株式の取得による支出	△28	△0
自己株式の売却による収入	28	0
財務活動によるキャッシュ・フロー	△660	△863
現金及び現金同等物に係る換算差額	138	7
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△934	△258
現金及び現金同等物の期首残高	8,141	8,271
現金及び現金同等物の四半期末残高	7,207	8,013

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注3)
	鋼管関連	自転車 関連	不動産等 賃貸	計				
売上高								
外部顧客への売上高	22,609	188	303	23,101	16	23,117	—	23,117
セグメント間の 内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—	—
計	22,609	188	303	23,101	16	23,117	—	23,117
セグメント利益又は損失 (△)	2,300	△20	266	2,546	3	2,550	7	2,558

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、機械設備・福祉機器の製造販売であります。  
 2. セグメント利益又は損失(△)の調整額は、棚卸資産の調整等によるものであります。  
 3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注3)
	鋼管関連	自転車 関連	不動産等 賃貸	計				
売上高								
外部顧客への売上高	21,873	176	305	22,356	6	22,362	—	22,362
セグメント間の 内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—	—
計	21,873	176	305	22,356	6	22,362	—	22,362
セグメント利益又は損失 (△)	841	△25	267	1,084	1	1,086	44	1,131

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、機械設備・福祉機器の製造販売であります。  
 2. セグメント利益又は損失(△)の調整額は、棚卸資産の調整等によるものであります。  
 3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。